財政力は政令市第３位
税金の使い方を変えよう

新型コロナウイルス感染症の影響で、いよいよ厳しさを増す市民の暮らし。
こんな時こそ、自治体の果たす役割が問われます。
党市議団は９月議会の中、市民のいのちと暮らしを守る市政への転換を求めて論戦を行いました。

2019年度決算審査 財政は市民のために使われた？

過去最大

2019年度も黒字

一般・特別会計 約28億円　水道会計 約45億円
基金総額 約693億円（うち財政調整基金242億円）

市民のくらしを見ると

市民の平均給与所得
約374万円
10年で実質３万円減

65歳以上 平均所得（年金）
約113万円
10年で約26万円減

消費税が10%に増税。コロナ禍で生活はますます苦しく。

「住民福祉の増進」が自治体の仕事なのに…

- **保育所待機児童が全国ワーストワン**
- **政令市のなかで人口あたり医師数・ベッド数がワーストワン**
- **政令市のなかで人口あたり公共施設面積・文化芸術費が最低**
- **高齢者・障害者の福祉関連予算は21億9500万円も削減**
- **大型開発への税金投入は**
  ２都心４副都心にすでに5778億円（2019年度約100億円）

市議団が提案

- 厳しいくらしを支えるため福祉・子育て優先に
- 新型コロナ対策と医療の充実に力点を置いて
- 特定の駅前だけでなく10行政区でバランスのとれた発展を

2021年度予算要望を提出

753項目

９月30日、党市議団は清水勇人市長に対し、2021年度の予算要望書を提出しました。

「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」として、発熱外来の設置、保健所・保健センターの人員増員、さいたま市立病院の旧病棟の活用、PCR検査の拡充などを求めました。また、小規模企業者・個人事業主への直接的な経済支援（減税、家賃補助、現金給付等）の再度の実施や、小・中学校の少人数学級の実現、社会インフラを支えるための保育所・学童保育への支援強化、国民健康保険料の値下げを求めました。

65歳以上 インフルエンザ予防接種が無料に

インフルエンザ予防接種が無料になります。
期間は10/1～来年1/31まで、対象は①65歳以上 ②60歳以上65歳未満で障害者手帳１級相当の障害を有する人です。

コロナ禍の学生へ支援を 請願不採択

学費の負担軽減、学びや就職での不利益を生まない対策などを国に求める「高等教育への補償・支援の抜本的拡充を求める請願」が提出され、党市議団は採択を求めましたが、他会派の反対で不採択となりました。

9月議会 論戦ハイライト（代表、一般質問）

久保みき市議

新型コロナ対策に市は公的責任果たせ

久　保　新型コロナウイルス感染症の対応で、改めて見えてきたのが保健所体制の脆弱さ。当面の職員増員、将来的に保健所の増設を検討すべきだ。また、社会保障削減、医療削減、公務員削減が、コロナ禍で国民の命と暮らしを守る上で脆弱な社会をつくってしまった。従来の行財政計画のように、公費負担を減らした分を市民の負担増で補うやり方は絶対にやってはならない。

副市長　将来世代に過度の負担を先送りしない持続可能な財政運営を図ってまいりたい。

久　保　新型コロナウイルス感染症との闘いは長期戦になることが予想される。福祉削減の一方で、派手な開発やイベントには際限なく税金を使うやり方は見直すべきだ。

金子あきよ市議

少人数学級の実現 １日も早く

金　子　新型コロナ感染拡大防止の観点から、少人数学級の実現を求める世論が大きく高まっている。政府も少人数学級実施に必要な予算措置をおこなう考えを明らかにした。しかし、空き教室がない、校庭が狭くて用地がないといった学校が市内にはたくさんあり、課題は大きい。こうした状況を踏まえて、少人数学級の実施についての市長の認識は。

市　少人数編制と教員確保の必要性は認める。

教育委員会　少人数学級の実施による学級数の増加に対応するには課題が多く、難しい状況。 国に対して要望する。

金　子　市は明確に少人数学級に踏み出すことを表明して１日も早く具体的な検討を開始するべき。国の動きもある中、遅れを取ったら、取り返しがつかないことになってしまう。ぜひとも真剣に、誠実にとりくんでいただきたい。